



携帯電話通信網を利用した 無線式列車制御システム





導入メリットの多い無線式列車制御システムを
携帯電話通信網を用いることで、地域鉄道にも導入可能。

鉄道事業者様の課題

労働力の減少

保守コストの削減

安全性向上

鉄道運行の維持

携帯電話通信網の利用で、無線式列車制御システムを構築

携帯電話通信網を利用した無線式列車制御システム

省設備化、省人化、
省力化を推進

列車制御の
安全化・効率化向上

自動運転化が容易で
運転士不足にも対応

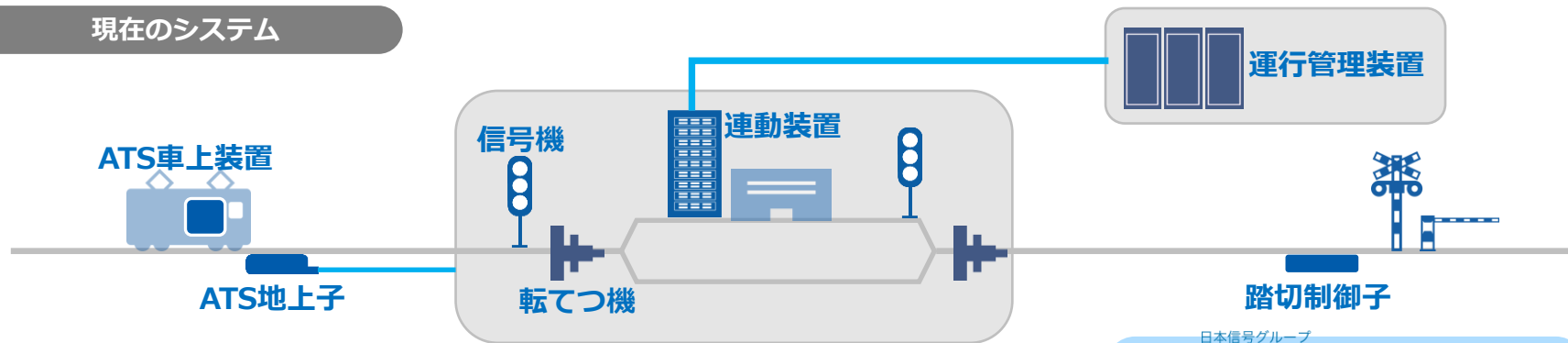


携帯電話通信網を利用した 無線式列車制御システム

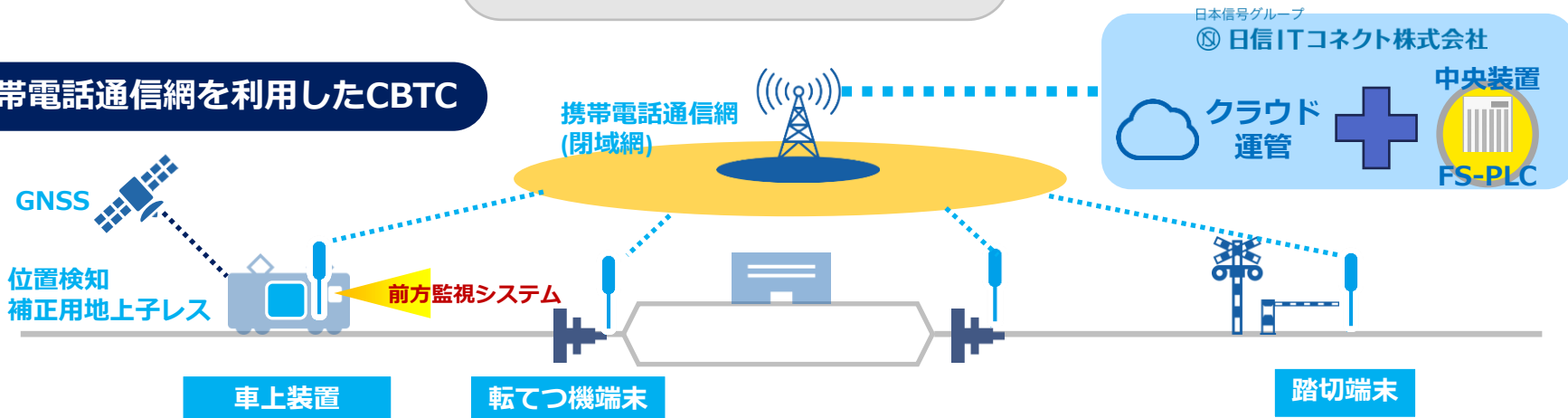
NIPPON SIGNAL

車上・地上設備を携帯電話通信網により接続しCBTCを実現。

現在のシステム



携帯電話通信網を利用したCBTC





現在、2つの実証実験を行っております。

伊豆箱根鉄道様における試験

目的

地域鉄道に広く適用可能な
CBTCの開発

国土交通省 鉄道技術開発・
普及促進制度によって実施

2025年度(最終年度)は、
新たに携帯電話通信網の活用、
車内信号化の開発、試験を予定

鉄道事業者Aでの試験

目的

携帯電話通信網を活用した
保安装置を開発

A社の固有要件(列車の分割・
併合運転への対応など)も含めた
システムを開発中